

活動報告 ▶ **第20回 町田発国際ボランティア祭・2017 夢広場**  
2017年11月3日(祝) 場所:まちの駅・ぽっぽ町田イベント会場

毎年恒例の国際ボランティアまつり・夢広場が、11月3日に「ぽっぽ町田」で開かれました。祭りは実行委員長から開会宣言があり、10時にスタートしました。

毎年恒例の永瀬正博さんの「馬頭琴」、山下孝之さんの「ケーナ」の素敵な演奏の後、オーストラリア出身の女装パフォーマーのレディー・ビードさんが登場。会場は一気に盛り上がり、破天荒な歌と演技それに流暢な日本語で大変な人気でした。今年は夢広場が始まってちょうど20周年に当たるため、スリランカ大使館特命全権大使のダンミカ・ディサーナーヤカ氏を特別ゲストとしてお招きしました。大使は「日本とスリランカの懸け橋となって」と題して、過去の両国の交流の歴史を振り返りながら、両国の更なる交流を図りた



Laos山の民・モンの女性たちが、心を込めて丁寧に刺した刺繍小物。 Laos在住でNHK 地球アゴラでも放映された安井清子さんがモンの女性のための支援として指導している小物たちだ。12月3日のまちカフェ2017でも販売。この写真は透明カバーが掛かっているが、是非直接手に取ってその美しさを見て欲しい。

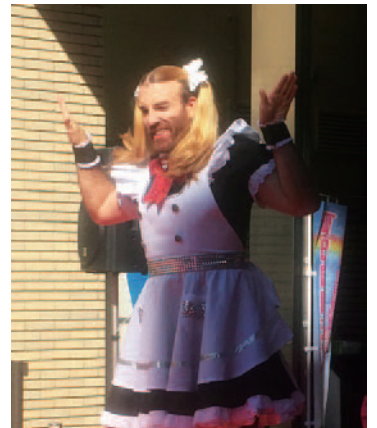
いとのご挨拶をされました。

午後からもフィリピンのダンスから始まり、「オカリナ演奏」あり、町田落語研究会による「英語落語」あり、フラダンスありと盛りだくさんで、天気に恵まれたこともあって街行く人も足を留め、楽しんでいました。

わりいとは今年もラオス・山の民モン族が刺繍したブックカバー、ペンケース、小物入れなど販売しましたが、思いのほか売れ行きが好調でモン族への支援に少しでも役立ったのではないかと関係者一同嬉しく思っております。

この夢広場は、会場の狭さが難点ですが、今後どのような国際交流の場としていくのが課題と言えます。

(報告:寺西)



オーストラリア出身のレディービードさんはプロレスラーであり歌手でもある。女装パフォーマーとしてテレビでも出演して今や大人気である



ケーナ演奏の山下孝之さん。今年は民族衣装で演奏